

キヤノンが23年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2025年まで23年連続で台数シェア No.1^{※1}を達成しました。



EOS R6 Mark III



EOS R50 V

キヤノンのレンズ交換式デジタルカメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン DIGIC、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能フラッグシップモデルから、簡単な操作で本格的な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえています。多彩な表現を可能にする計 113 機種^{※2}の豊富な RF/EF レンズとともに、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年9月、デジタル一眼レフカメラの黎明期（れいめいき）において、キヤノンは画期的な低価格と小型・軽量を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売し、本格的なデジタル一眼レフ時代の幕開けに大きく貢献しました。これにより市場の拡大をけん引し、世界シェア No.1 を獲得しました。その後も、プロ向けの EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなど、時代を切り開く製品を提案してきました。そして2018年10月には、撮影領域のさらなる拡大を実現する「EOS R SYSTEM」を立ち上げ、世界初^{※3}の 8K 動画撮影機能を搭載したフルサイズミラーレスカメラ「EOS R5」（2020年7月発売）や高性能 AF・高画質と高信頼性を両立し、プロの高い要求に応えるフラッグシップモデル「EOS R1」（2024年11月発売）を発売するなど、新しい映像表現の可能性を追求し続けています。

2025年は、クリエイティブな動画機能を提供する新シリーズ「EOS V series」の APS-C サイズミラーレスカメラ「EOS R50 V」（2025年5月発売）や、ハイアマチュアユーザーの幅広いニーズに応える優れた撮影性能を一台に凝縮したフルサイズミラーレスカメラ「EOS R6 Mark III」（2025年11月発売）を発売しました。さらに、これらのカメラに加えて7機種^{※4}の RF レンズを発売するなど、「EOS R SYSTEM」のさらなる拡充を図ることで、2003年から23年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成しました。

キヤノンは、これからも独自の映像技術に磨きをかけ、お客さまの多様なニーズに応える製品やサービス、ソリューションを提供することで、人々の生活に豊かさと驚きをもたらし、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1 キヤノン調べ。

※2 市場により、販売しているレンズの機種の数は異なります。エクステンダー4機種含む。2026年2月24日時点で発表済みのレンズにおいて。

※3 2020年7月8日時点で発表済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて。キヤノン調べ。

※4 2025年に発売した RF レンズ（RF シネマレンズ含む）は、「RF16-28mm F2.8 IS STM」（2025年2月発売）、「RF20mm F1.4 L VCM」（2025年4月発売）、「RF75-300mm F4-5.6」（2025年5月発売）、「RF-S14-30mm F4-6.3 IS STM PZ」（2025年7月発売）、「RF85mm F1.4 L VCM」（2025年9月発売）、「CN5×11 IAS T/R1」（2025年11月発売）、「RF45mm F1.2 STM」（2025年11月発売）の7機種。